

令和4年度 東近江市地方創生施策の実績

定住移住

●定住移住補助金（新築住宅取得又は住宅改修費の一部を補助）

区分	対象	補助上限額	実績
新築等取得	中学生以下の子どもがいる世帯	上限20万円（1/5）	114件 22,596千円
	Uターン者	上限20万円（1/5）	33件 6,600千円
	39歳以下で結婚し新生活をはじめめる世帯	29歳以下 上限60万円 それ以外 上限30万円	2件 900千円
改修	市民（住み続けるための住宅リフォーム）	上限15万円（1/10） 工事費50万円以上	111件 14,902千円

●定住移住ツアー（取扱：東近江市観光協会）

	参加組数	参加者数
就農ツアー （1泊2日）	10月8日、9日	3組 9人
	10月22日、23日	2組 4人

◇オーダーマイド移住体験 ～Visit Higashiomí～



東近江市への移住を考えている人を対象に個々の移住希望者に合ったよりきめ細かい体験ができるよう、1グループ4人程度の少人数での体験事業を実施しました。

利用数 6組 9人

◇お試し居住「政所山荘」



令和4年度をもって終了しました。

移住や二地域居住に関心のある人を対象に、住宅を貸出し、東近江市での暮らしぶりを体験することで、ライフスタイルや地域の特性・風土を実感できるお試し居住を実施しました。

利用数 14件 34人



●婚活支援

登録者数 60人 成約数 6組

●移住相談を通じた移住者

移住実績 2件 3人

●空家バンク

◇東近江市住まい創生センター

空家、空店舗所有者と空家、空店舗を利用したい人とをマッチングし、空家問題を解決するために令和3年6月15日に一般社団法人東近江市住まい創生センターを設立しました。

空家バンク登録・成約件数
（令和5年3月31日現在）

登録者数		成約件数		希望者数		成約数	
内売買	39件	内売買	25件	内売買	15件	内売買	15件
登録件数	43件	内賃貸	3件	内賃貸	21件	成約数	15件
	どちらでも良い	1件	どちらでも良い	19件		内賃貸	0件

登録：空家を登録して「売りたい」「貸したい」件数 希望：空家を「買いたい」「借りたい」件数



雇用創出

●企業誘致

支援メニュー	対象	支援内容	実績
立地促進奨励金	製造業、運輸業、情報通信業、研究機関、宿泊業	新設、増設による新たな投資により取得した資産にかかる固定資産全相当額 (上限年間1億円×3年間)	35件
商業施設立地促進奨励金	商業	市が指定する区域内において自ら小売事業を行う事業者が投下固定資産総額 1億円以上 建築面積 3千平方メートル以上の施設を新設した場合 (上限年額5千万円×6年間)	0件
雇用促進奨励金	東近江市の住民を新規雇用(正社員)し、継続して雇用した実績	新規雇用者数×10万円(上限2千万円×3年間)	9件

●空店舗改修・起業支援

支援メニュー	支援内容	実績
空店舗改修支援事業補助金	空店舗を利用し、開業する事業者に対して改修費用の50パーセントを補助(上限100万円)	2件
中心市街地商業等空店舗等再生支援事業補助金	中心市街地にある空店舗を利用して開業する事業者に対して、店舗改修費用の50パーセントを補助(上限300万円)	1件

◇女性のための創業塾



カフェ、サロンなどの創業に興味があり独立開業を考えている女性を対象に、必要な基礎知識などを学ぶ講座の開催を支援しました。
 参加者28人
 開業14人(うち市内10人)

主催 東近江市商工会

◇SATSUKI-RO

コワーキングスペース、レンタルスペースに続き、起業を目指す方の模擬出店や、料理教室などができるレンタルキッチンがオープンしました。



運営：一般社団法人八日市まちづくり公社

◇ようかいち起業塾

「いつかは起業したい」「好きなことを仕事にしたい」という人を対象に、全5回の講座の開催を支援しました。
 参加者23人
 開業4人(うち市内3人)

主催 八日市商工会議所



◇コミュニティビジネス支援

多様化する地域課題をビジネスの手法で解決を目指す事業者の立上げを支援しました。 2団体



フリースペース「かりぼん楽校」の未来づくりプロジェクト

一般社団法人がもう夢工房

びわこの源流 あらゆる場面で木を使うプロジェクト

東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会

◇しごとづくり応援センター

市内事業所が必要とする人材を確保するため、職業紹介と体験実習による就労支援しました。

事業所 新規登録数	求人票 登録数	求職者 登録数	職場体験 実習件数	職場見学 件数	紹介件数	採用者数
14	618	26	18	41	16	12

農産物ブランド化・就農

【近畿地方 市町別】

耕地面積		農業産出額		代表的な耕種又は畜産
1位	東近江市 8,330ha	1位	南あわじ市 211億円	野菜
2位	長浜市 7,940ha	2位	紀の川市 180億円	果実
3位	丹波市 5,480ha	3位	田辺市 147億円	果実
4位	高島市 5,020ha	4位	みなへ町 131億円	果実
5位	豊岡市 4,920ha	5位	神戸市 127億円	野菜
		6位	五條市 117億円	果実
		7位	丹波市 116億円	肉用牛
		8位	有田川町 110億円	果実
		9位	豊岡市 108億円	鶏
		10位	東近江市 103億円	米



参考 平成29年データ

耕地面積		農業産出額		1位の耕種又は畜産
1位	東近江市 8,470ha	1位	南あわじ市 266億円	野菜
2位	長浜市 8,010ha	2位	紀の川市 181億円	果実
3位	丹波市 5,620ha	3位	神戸市 161億円	肉用牛
4位	甲賀市 5,200ha	4位	有田川町 131億円	果実
5位	高島市 5,120ha	5位	豊岡市 122億円	鶏
		6位	五條市 107億円	果実
		7位	東近江市 107億円	米

●就農支援

支援メニュー

支援メニュー	内容	補助上限額	実績
就農相談	市、県、JA、農業委員会、地域商社等の関係機関が連携して就農相談に対応		17件 ※市受付分
新規就農マッチング事業	NPO法人愛のまちエコ倶楽部と連携し、新規参入や第三者継承を支援		1件
集落営農リーダー育成補助	農業研修費用に対する補助 農業機械の免許取得に必要な経費 農業関係の専門研修に必要な経費	上限1.6万円（1/3） 上限10万円（1/3）	11人 91千円
次世代担い手確保・育成支援補助	新規就農者にハウス設置や空きハウスの修繕等に対して補助		4件 2,840千円
農業次世代人材投資事業	50歳未満の認定新規就農者に経営が安定するまでの間投資資金を交付	年間上限150万円 最長5年間	6件 825千円
集落営農活性化プロジェクト促進事業	集落営農の活性化に向けたビジョンづくり、その実現に向けた人材の確保などの取組を支援	各メニュー 合計1,000万円	専従者1名



●儲かる農業への転換

支援メニュー

支援メニュー	内容	補助上限額	実績
水田野菜生産拡大推進事業補助	農業所得の向上と市内産野菜の自給率向上のため、野菜の生産を拡大し、生産に取り組む農家を支援	拡大した面積（10a当たり） 1年目8万円、2年目3万円、 3年目1万円	37件 10,798千円
高収益作物生産振興事業補助	水田等を高度に利用し、野菜等を周年栽培できる輪作体系の確立及び収益性の高い野菜、果樹等の生産振興に資するため、生産等に必要な機械施設の整備を支援	メニューにより上限 5~100万円 (2/10~5/10)	29件 3,477千円

●林業の振興

◇【林家】地域おこし協力隊

隊員 2人

林業を生業とした担い手を増やすことで、森林整備を促進するとともに、森林を活用した山村活性化につなげるため、地域おこし協力隊の活動を支援しました。



子育て支援・教育

●出産

◇東近江市産後ケア事業

出産後1年未満のお母さんの身体や心をケアするため、助産所や助産師などによる育児サポートを実施しました。必要に応じて、短期入所型、通所型、居宅訪問型から選択できます。

◇不妊・不育症治療費の一部助成

不妊治療のうち、治療費が高額となる体外受精又は顕微授精による治療費などや不育症の検査・治療費の一部を助成しました。



●子育て支援

◇見守りおむつ宅配便

1歳未満児がいる家庭に、毎月1,500円相当のおむつなどを専門のスタッフが宅配し、育児世帯の経済的な負担の軽減と子育て家庭の見守り活動を実施しました。



◇乳幼児・子ども医療費助成

乳幼児・小学生・中学生が通院や入院した場合の医療費を所得制限なしで助成を実施しました。

【自己負担額】

乳幼児 無料

小学生・中学生

入院 1,000円/日 (月額上限14,000円)

通院 500円/月(1医療機関)

調剤は無料

◇保育料軽減

第3子以降の保育料を兄弟の年齢にかかわらず、その世帯の所得に応じ、無料又は半額に軽減しました。



【軽減内容】※所得制限有
第1階層～第7階層は無料
第8階層～第13階層は半額

●里山保育

市民団体「東近江さとやまNannies」と協働で、市内の幼稚園や認定こども園の5歳児を対象に、体験を通じて身近な自然の楽しさを知ってもらう里山保育事業を実施しました。

令和3年 9園 ⇨ 令和4年 12園



●保育士確保

◇「保育の仕事」見学・体験を開催 11月18日・30日

保育の仕事に関心のある人や保育士資格又は幼稚園教諭免許を持っていて復職などを考えている人を対象に、見学・体験を行いました。



参加者 2人

◇「保育の仕事 就職フェアIN東近江」を開催 5月28日・12月3日

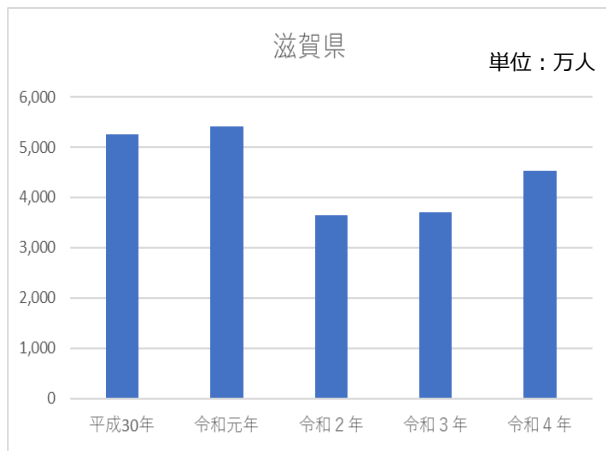
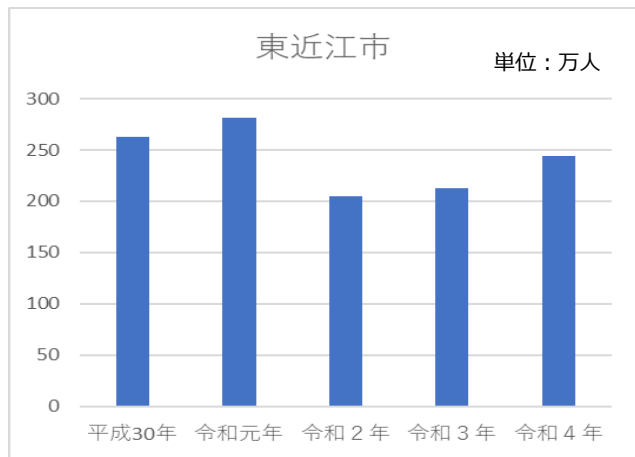
保育の仕事に興味があり、就職を考えている人を対象に、市内の幼児施設についての話や保育教諭の体験談の発表、また民間園から園の施設や保育理念の紹介を行いました。



参加者 38人 ⇨ 就職 7人

◇観光入込客数

令和4年の数値は速報値です。



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
東近江市	263	282	205	220	244
滋賀県	5,254	5,404	3,641	3,701	4,523

●観光・地方創生イベント

◇エコツーリズム

東近江市が策定した「エコツーリズム推進全体構想」が、国の認定を受け、10月22日に永源寺コミュニティセンターもみじホールにて認定式・フォーラムを開催しました。



◇近江の聖徳太子魅力発信

聖徳太子1400年悠久の近江魅力再発見委員会では、5月21日に太郎坊宮及び八日市文化芸術会館で開催したオープニングセレモニーを皮切りに聖徳太子ゆかりの社寺を中心に秘仏の特別公開や特別御朱印めぐり、秘仏公開にあわせた社寺のライトアップイベントなど、大人から子どもまで楽しめる様々なイベントを実施し、当地域の魅力発信を行いました。



◇SEA TO SUMMIT

コロナ禍により2年連続で開催を中止した「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT」を3年ぶりに開催しました。



●木地師のふるさと発信

◇東京国立博物館にて公開シンポジウム開催

9月18日、東京国立博物館にて公開シンポジウム「木地師と漆ー未来を紡ぐ伝統文化」を開催し、「木地師のふるさと東近江市」を全国に発信しました。



◇ニュースレター発行

東近江市で活躍する木地師の紹介、木地師資料館の紹介や資料収集の案内などをまとめたニュースレター「木地師のふるさと」を発行しました。

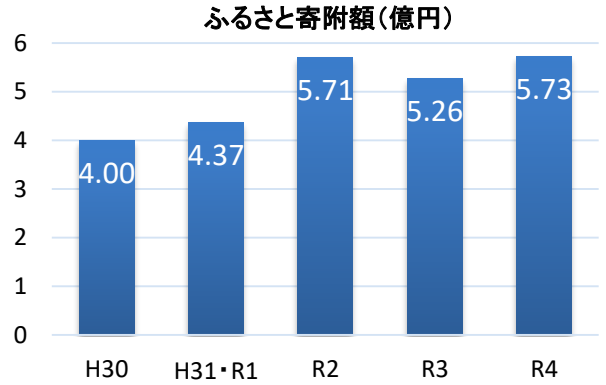


●ふるさと寄附

◇ふるさと寄附が5億円を突破

ふるさと寄附金の総額は約5億7千万円。寄附額の約3割に相当する市内の物産等を返礼品として寄附者にお礼を返しました。

件数	7,597件	金額	573,734,000円
----	--------	----	--------------



提案メニュー別寄附額



- 鈴鹿の山々から琵琶湖まで広がる自然や魅力ある歴史、文化、伝統を生かしたまちづくりに関する事業
- 誰もが暮らしやすいまちをつくるための担い手となる人材の育成に関する事業
- 安全で快適なまちをつくるための都市基盤の整備に関する事業
- 市長が必要と認める事業 (使途事業を選択されなかった分を含む。)

にぎわい創出

●中心市街地活性化

◇八日市駅前複合ビル

近江鉄道八日市駅前に、官民連携による複合ビルが完成。

1階は観光交流施設、2～3階は八日市商工会議所などのオフィススペース、4～14階は分譲マンションとなっています。



◇SATSUKI-RO

八日市駅前にある築100年の古民家を改修し、にぎわい創出の拠点として整備された施設に、新たにコミュニティスペース及びレンタルキッチンが整備され、令和4年11月にグランドオープンしました。



運営：一般社団法人八日市まちづくり公社

◇えいとてらす

八日市駅前の歩道上にテーブルや椅子を設置して、沿道店舗やキッチンカーで購入したものを飲食できる屋外カフェ「えいとてらす」を支援しました。



◇本町パサージュ

本町商店街を会場に様々な分野のアーティストが一堂に会し、作品や食品を展示、実演、販売し、自己を表現する場として開催される「本町パサージュ」を支援しました。



●市内における各イベントの再開

◇聖徳まつり2022

7月23日、24日に聖徳まつりが4年ぶりに開催されました。



主催：聖徳まつり実行委員会



◇びわこジャズ東近江2022

9月24日、25日にびわこジャズ東近江が3年ぶりに開催されました。



主催：びわこジャズ東近江実行委員会2022

◇東近江市秋まつり

11月3日、19日に東近江市秋まつりが3年ぶりに開催されました。

主催：東近江秋まつり実行委員会



11月3日 二五八祭



11月19日 農林水産まつり

●宿泊客等誘客の仕組みづくり

◇宿泊施設「NIPPONIA五個荘 近江商人のまち」

東近江市での滞在時間の延伸や新たな観光誘客を図るため、五個荘近江商人発祥の地である五個荘金堂地区の近江商人屋敷の一つ「外村宇兵衛邸」を改修し、宿泊施設「NIPPONIA五個荘 近江商人のまち」としてオープンしました。



◇スポーツ大会・コンベンション等開催誘致

スポーツ大会、合宿、学会、大会などで市内宿泊施設で宿泊を伴う取組に対して、市外からの参加者の宿泊に対する助成をしました。

(市内開催の場合 1,000円/人※上限有)



都市基盤

●近江鉄道利用促進

◇利用環境の整備

快適に利用できる環境整備を図りました。

- ①近江鉄道五箇荘駅の自転車駐輪場増設
- ②近江鉄道市辺駅のトイレ洋式化

①



②



◇ガバメントクラウドファンディング

ふるさと寄附を通して、行政だけでなく多くの人々とともに近江鉄道線を支える気運の醸成を図るため、ガバメントクラウドファンディングを実施しました。

◇近江鉄道全線乗車キャンペーン事業

近江鉄道の利用促進を図るため、期間限定で全線乗り放題乗車券「ワンコインスマイルきっぷ」を通常より安価に販売し、移動の拡大や新規利用者の掘り起こしを行いました。



●ちよこっとバス

◇バスロケーションシステムの導入

バス停の二次元コードを読み取る等の方法で、現在の運行状況がわかるシステムを導入しました。



◇ちよこっとバスダイヤ改正

ちよこっとバスの新規路線として、市街地循環線の運行や湖東線早朝便の増便、ちよこっとタクシーの運行エリア見直しを行い利便性の向上を図りました。

◇ちよこっとバス学生応援お試しキャンペーン事業

新たな利用者の掘り起こしや公共交通利用の習慣づけを図るため、中学生以上を対象に期間限定でちよこっとバスの運賃が無料になる事業を実施しました。

●地域医療の充実

◇東近江市立永源寺診療所の新築

老朽化に伴い新築工事を進めていた永源寺診療所が完成し、5月9日から新診療所での診療が開始されました。



◇東近江市立能登川病院昂会アイセンター

旧能登川保健センターを改修し、4月11日から昂会アイセンターとして診療が開始されました。



●道路整備

◇小今建部上中線（聖徳工区）

小今建部上中線のうち聖徳工区（ひばり通りから大風通りまで）が完成しました。

